

「規制当局は、不正を見抜くツールを持っていなかつたのです」

米マーコブ・プロセス・インターナショナル（MPIO）を率いるマイケル・マーコブ最高経営責任者（CEO）はこう残念がる。金融サービスの調査・技術会社であるMPIは、運用会社の実績の信ぴょう性を調べるソフトで知られる。



□

調査会社CEOの嘆息

マドフ氏が関与していたヘッジファンドの運用実績を調べたことがある。

マードフ氏によるとMPIは二年前、ヘッジファンドの要請に応えて、このほど同額の詐欺事件で逮捕された、NASDAQ元会長の

マドフ氏が関与していたヘッジファンドの運用実績を調べたことがある。

結果は驚くべき中身。マドフ氏のファンダムは統計学者のあらゆる基本から逸脱していた。二十年という長期間の運用実績があるが、月

公表通りの高リターンは不可能だったという。

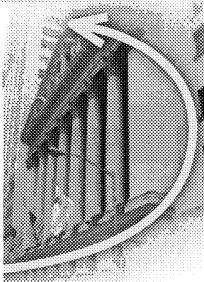
十九日の米株式相場は小幅続落。自動車大手に対するト・シラー教授によると、株三十種平均は朝方に急伸した。だが、その後はデフレーションであっても過度に信用

レ懸念から景気に敏感な消費者が売られた。

米証券取引委員会（SEC）など市場監督者に対する不信感も市場心理を冷やしている。投資信託を含めて、運用先の透明性が非難されているが、そもそもSECが不正を見破れていなかつた。これは同ファンダムに投資した金融機関も同じだ。バブルが機関投資家の基本原則である受託責任をもまひさせたことを、マドフ事件は白日の下にさらした。

（ニューヨーク＝松浦肇）

ウォール街 ラウンドアップ



してしまったのだという。



□

してしまったのだという。